

MFクラウド導入のメリットがあるケース

1 インターネットバンキングを開設済、もしくは開設してもよい

銀行口座とMFクラウドとを連携させることにより、口座の取引明細をMFクラウドに**自動取得**させることができます。

- ① 自動取得した仕訳は、AIによりあらかじめ候補となる勘定科目が設定されています。
- ② この候補や摘要等にてそのまま登録、もしくは修正をして**自動仕訳ルール**として登録します。
- ③ 次回からはそのルール通りに取り込まれるので確認をするだけです。
- ④ 使えば使うほど学習機能の精度が増し、**入力の手間が省け、楽**になります。

2 預金取引が多い

預金取引が多いほど、**自動化出来る仕訳が増えます**。これにより経理作業の省力化ができ、人件費の抑制、及び他の仕事に使える時間が増えます。

3 クレジットカードでの取引がある(売上・支出とも)

クレジットカードとの連携により、カードの明細も自動で取り込めます。こちらも自動仕訳ルールの活用により、入力の手間が省けます。

4 Amazon アスクル等の通販サービスを利用している

amazon、アスクル、たのめーる、YAHOO！ショッピング、楽天市場など**通販サイトとの連携**も可能です。

5 Amazon Yahoo 楽天等にて出店している

MFクラウドでは、amazon、楽天、YAHOO！等の**出品者アカウントとも連携**が可能なのでこれらの売上の入力の手間も省けます。

6 タブレット型レジを活用したい（主に小売・理美容・飲食業）

スマレジ、Square、ユビレジ、ラクレジ等との**タブレット型レジとの連携**も可能なので、これらをお使いであれば非常に相性のいいソフトです。

7 電子マネーを使用している

楽天Edy, nanaco, WAON, PiTaPa, SMART ICOCA, モバイルSuica, au WALLEET, 出光キャッシュプリカ…などとも連携しているので、これらとの連携が可能です。

MFクラウド導入のメリットがあるケース

8 Macを使用している

MFクラウドは、従来のインストール型ソフトとは異なり、インターネット環境さえあれば、**どのPCからでも入力、確認が可能**です。もちろん**Macでも**問題なく使用できます。

9 外出先・出張先でも入力・確認がしたい

これまでは、社長や経理担当者が不在がち、また複数の事務所や店舗があるが、経理用のPCは1台しかなく、なかなか入力・確認の時間を取れなかった..等の問題も、クラウド型のソフトであれば**時間、場所を選ばずに作業が出来ます**。またPCだけでなく、タブレットやスマホでの確認もできます。また経理担当者の在宅での勤務なども問題ありません。

10 複数の店舗・部門にて現金出納帳をつけている

現金取引についても、MFクラウド用のフォーマットのエクセルシート(ログイン後の画面から簡単に作成できます)に入力すれば、その**エクセルシートからの取り込みができます**。複数の店舗や部門ごとに現金管理をしても、各店舗にて、そのエクセルシートに現金出納帳の入力をすれば、あとは**まとめて取り込むだけ**なので時間の短縮につながります。

11 経理の入力に時間がかかっている(もっと時間を短縮したい)

・経営者・経理担当者が帳簿の入力に時間を取られている
・経理担当者が欲しいが雇うにはそれなりの人件費がかかるし…
などの**問題の解決の一助**となります。

12 月次決算が滞りがち

これまで経理作業のための十分な時間が取れずに入力が遅れがちでも、MFクラウドであればより**タイムリーな作業・確認**ができます。

13 遠隔地でデータの受け渡しに時間がかかる

これまで店舗間や会計事務所との距離が離れている為、資料の収集・受け渡しに時間がかかっていた場合でも、MFクラウドならそれぞれの担当者や会計事務所がいつでも**同じ帳簿を入力・閲覧**できるのでデータの受け渡しという問題がなくなります。また、**担当者ごとに入力・閲覧権限を細かく設定**できるので、見られたくない箇所は制限することが可能です。